

令和5年

12

Vol.119

あわらのふだんのくらしのしあわせを届ける広報誌

あわら協
社だよ

ひだまり



特集

10年後の自分と地域を考える



10年後の自分と地域を考える



あわら市社会福祉協議会では、11月11日に「10年後の自分と地域を考えるつどい」をあわら市と共同で開催しました。

「地域の未来を考えてください」と言われると漠然としてイメージしにくいですが、「自分の未来を考えてください」と言われると少しイメージしやすいのではないのでしょうか。例えば、10年後に自分がどんな暮らしをしていたいかを考えたとき、どんなまちに住んでいたいかも考えますよね。治安が良いまち、子育てしやすいまちなど、それぞれに思い描く住みたいまちがあると思います。

このつどいでは、このまちに住む皆さんが、10年後も「あわらに住んでいて良かった」と思えるよう、まずは「どんな地域にしていきたいか、そのために自分には何ができるのか」を考える機会となるよう、参加者の皆さんに語り合っていました。

今号では、つどいを通して見えてきた「いつまでも住み続けたい地域づくり」についてご紹介します。そして、このつどいに参加できなかった皆さんにも、10年後に自分がどんな暮らしをしたいか、どんな地域に住んでいたいかをイメージしていただくきっかけになればと思います。

地域が「帰れる」場所で あり続けるために

つどいには、神戸学院大学の川本健太郎准教授を講師にお招きし、「地域支え合いのススメ 私のために始めることが、10年後の地域をつくる」をテーマにご講演いただきました。

終身雇用や年金による生涯にわたる安定した生活のイメージが崩壊しつつある現在、多くの人が将来への不安を感じているようです。特に、家賃や住宅価格が著しく高い都会においては、子育てや老後を含めた長期的なライフプランを描けない若者が増えているようです。そのため、心豊かに過ごせる地元や田舎での暮らしを望む若者が多くなっており、安心して帰れる場所、いつでも受け入れてくれる場所の存在が必要になっていきます。



質疑応答の時間には、川本准教授が参加者の質問に丁寧に答えてくれました。

住んでいる人たちが生き生きと暮らしている地域であれば、若者にとって安心して帰れる場所となり、誰にとっても住み続けたい地域となるはず。他者を受け入れ、困っている時に互いに声をかけ合う温かい地域づくりが大切であると、お話していただきました。

先生からのエール！



神戸学院大学
総合リハビリテーション学部
准教授 川本 健太郎 さん

地域に愛着を持ち 寛容になることが 大事です

これまでに3回、あわらし市でお話させてもらいましたが、参加してくれる人たちは皆あわらしのことが大好きで、地域に愛着を持っていることが伝わってきました。

今回のつどいで、あわらしの好きな場所をいくつか挙げてもらうグループワークを行いました。誰ひとり言葉に詰まる人がいなかったのが印象的です。誰しも

「嫌いなところ」はすぐ言えるんですが、「好きなところ」をすぐに言えるのは素敵だと思います。

今後地域をより良くしていくために大事なことは、他者に対してどれだけ「寛容」になれるかどうかではないかと思っています。例えば、無人レジで困っている人を見かけた時、「早くしろよ！」と思うのではなく「お困りですか？」と声をかける、そんなまちです。日本では「人様に迷惑をかけるな」と教えられますが、インドでは「あなたも迷惑をかけるから人に寛容でありなさい」と教えられるそうです。何か困っている人がいたら優しい目で声をかけてあげてください。それが今後の地域をより良くしていく一歩になります。

誰かを応援する気持ちが 住みたい地域をつくる

グループワークでは、参加者の皆さんに「これからの10年間でやりたいこと」を語り合っていました。そして、グループでの話し合いから出てきたそれぞれのやりたいことを①自分のため、②家族のため、③友達のため、④住んでいる地域のための4つに分類



し、その中から自分が最も応援したい活動を選んでいただきました。

「お惣菜屋を開きたい」、「誰でも自由に交流できる居場所を作りたい」といった意見に対し、「惣菜屋をするなら野菜を持って行ってあげるよ」、「手伝うよ」など、温かい応援の声が聞かれました。

地域づくりを進めるにあたり、「アイデアはあるけど一人ではできない」という場合でも、「喜んで応援するよ」という人と出会うことで、何かを始める一歩につながるかもしれない。

「いつまでも安心して暮らし続けることができるまち」にするために、今後も地域を良くしていきたい人・応援したい人が出会う場を企画していきたいと思えます。



あわら市社会福祉協議会では、今後も地域の皆さんが語り合える講演会や勉強会を開催していく予定です。広報誌やSNS等で随時ご案内しますのでぜひチェックしてみてください。

心配ごとや困りごとを一人で抱えずに お気軽にご相談ください



チーム支援でサポートします

あわら市社会福祉協議会の事業

心配ごと相談、無料法律相談、福祉サービス利用援助、生活困窮者自立支援、家計相談、生活福祉資金貸付相談、成年後見センター など

他機関と連携した支援

「福祉まるごと相談室」（あわら市健康福祉部）
保健、医療、介護、司法機関、ハローワーク、就労支援機関、民生委員・児童委員 など

まずはお電話・メールでご連絡ください

あわら市社会福祉協議会 地域福祉課生活支援係

電話 0776-73-2253

メール seikatsu@awara-shakyo.or.jp

月～金 9時～17時

土・日・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）を除く





募金でつながる、やさしいまちへ

赤い羽根共同募金運動 レポート

中間報告

※11月30日現在

5,789,209 円

(目標額 7,152,000 円)

▶金津高校の生徒の皆さんが、朝の登校時間に学校前で募金活動をしてくださいました。



10月1日から始まりました赤い羽根共同募金運動に、多くの方からご支援とご協力をいただいております。皆さまの温かい思いやりに心よりお礼申し上げます。
また、12月1日からは歳末たすけあい運動が始まっています。歳末たすけあい運動は、高齢者・障がい者・児童・困窮世帯の方などが、新たな年を迎える時期に、安心して暮らすことができるよう実施している募金運動です。引き続き、皆さまのご協力をお願いいたします。



＼あわら国際交流友の会／

会員募集中です！！

下記の問い合わせ先までご連絡ください。
問い合わせ先【電話番号】0776-78-7904

ちいきぎ！
いぎいぎ！

通 信

Vol.11

あわら国際交流友の会
チャリティバザー

11月5日、中央公民館で「チャリティバザー」が開催されました。あわら国際交流友の会が開催した本イベントは、市役所内などから集めた衣類を外国人に提供するとともに、来場者同士の交流を図ることを目的としています。

あわら国際交流友の会では、市内に住んでいる外国人が少しでも暮らしやすくなるように日本語講座を開いたり、交流の場としてフットサル大会などを開催しています。会の活動に興味のある方はお問い合わせの上、ぜひご参加ください。

折り紙ボランティアあじさい 会員募集！！



活動回数

月1回程度
約1時間(平日)

対象年齢

20歳以上

活動場所

あわら市内の高齢者施設

折り紙ボランティアあじさいでは一緒に活動してくれる仲間を募集しています。あわら市内の高齢者施設で利用者の方と楽しく折り紙の作品を作る活動をしています。
折り紙初心者の方も大歓迎です。ご希望の方は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。皆さまのご参加をお待ちしております。

■問い合わせ先

あわら市社会福祉協議会
地域支援係

電話 0776-73-2253



足湯ひろばを開催しました！

いきいきテラスいちひめの新しい取り組みとして、1日限定で足湯ひろばを初開催しました。同時に実施したアロマテラピー（芳香浴）で、この日はいきいきテラスいちひめが癒しの空間に大変身しました。

足湯にのんびりと浸かっておしゃべりするひときは、心身をリラックスさせ、素敵な笑顔が見られました。ご参加いただいた皆さま、本当にありがとうございました。



金津雲雀ヶ丘寮の職員を募集しています

金津雲雀ヶ丘寮で、主に施設利用者の栄養指導・健康管理及び一般事務に従事していただきます。（調理・食材発注等の業務は外部事業者へ委託されています。）

※この求人は、実務経験のある人が対象となります。大卒、短大卒又は専門学校卒であって管理栄養士の免許を保持し、管理栄養士としての実務経験が1年以上ある方を募集しています。

詳細は求人票をご確認ください。

【募集職種】 管理栄養士（正規職員）

【勤務場所】 金津雲雀ヶ丘寮

【給 与】 月給 190,200 円～

【採用の日】 令和 6 年 4 月 1 日

寄付・寄贈ありがとうございました

令和5年10月1日～令和5年11月30日受付分

匿名 様	20,000円
(株)北陸環境サービス 様	新米30kg
(株)福井クリーン・システム 様	レトルト食品50食
(農)イーノなかのはま100 様	新米50kg
(農)アグリBANDEN 様	新米50kg

このほか、匿名の個人の方々からお米のご寄付を頂きました。

あわら市商工会女性部の皆さま、金津村田製作所の皆さまより、フードドライブに取り組んで集まった食品等を寄付していただきました。



あわら市商工会女性部 様

金津村田製作所 様

心よりお礼申し上げます。

うめぼしの会が令和5年秋の 褒章を受章しました！

あわら市社会福祉協議会では、一人暮らし高齢者等の世帯へお弁当を届ける給食サービスを行っています。

うめぼしの会は約30年間、この給食サービスのお弁当に四季折々のメッセージを添える活動を行っており、その功績が認められ、緑綬褒章を受章されました。

うめぼしの会の皆さま、この度の受章誠にありがとうございます。



ひとりで悩まないで、まずは相談してみよう

誰かに悩みを聞いてほしい
心配ごと相談



1月

月～金 9:00～17:00
会場：いきいきテラス
いちひめ

2月

月～金 9:00～17:00
会場：いきいきテラス
いちひめ

※要予約 (☎73-2253)

気軽に弁護士に相談できます
無料法律相談



1月

17日(水) 13:00～16:00
会場：いきいきテラス
いちひめ

2月

19日(月) 13:00～16:00
会場：湯のまち公民館

※要予約 (☎73-2253)
※相談時間は一人20分です

素敵なお相手探しに
結婚相談



1月

22日(月) 13:30～15:30
会場：いきいきテラス
いちひめ

2月

26日(月) 13:30～15:30
会場：いきいきテラス
いちひめ

発行

社会福祉法人あわら市社会福祉協議会
〒919-0621 あわら市市姫二丁目31番6号
TEL 0776-73-2253 FAX 0776-73-4542



あわら市社会福祉協議会
マスコットキャラクター
はるちゃん

＼SNSで#あわらのふくし発信中。フォロー・いいね!お願いします／

Instagram



Facebook



X (旧ツイッター)



ホームページ



編集後記

今号では「10年後の自分と地域を考える」について特集しました。イベント当日、皆さんが地域について話し合っている姿を見て嬉しい気持ちになりました。今後もこれからの地域について気楽に話し合える会を開催する予定ですので、ぜひ多くの方に参加していただけたらと思います。



この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。